

車座会議会議概要

招集年月日 平成29年8月9日(水)

招集場所 相生庁舎

出席議員 11名

1番	山崎 篤史	2番	山上 健造	3番	福永 敏行
4番	柏木 岳	5番	古野 司	10番	植北 英徳
11番	株田 茂	13番	連記かよ子	14番	新居 敏弘
15番	久川治次郎	16番	大澤夫左二		

欠席議員 4名

6番	田中 久保	7番	清水 幸助	9番	煎原 廣幸
12番	吉田 行雄				

欠員 1名

傍聴

延野地区 10名

笹山 泰司	井本 茂	大西 昭生	川島 久志
湯城 豊勝	藤本 忠美	森 泰敏	殿谷 武司
上田 将視	福田 豊		

午後7時00分 開会

進行：植北議員

議長あいさつ

○古野議長：こんばんは。昼間、お仕事等でお疲れのところ、多くの方にご出席いただき誠にありがとうございます。私たち議会に対して日頃からご支援いただき厚くお礼申し上げます。我々に残された任期は後少しであります。前回の選挙は無投票であり、議会改革に取り組もうということで、皆さんに信頼いただけるような開かれた議会でなければいけないということでこの4年間一生懸命議会改革に取り組んできた。議会活動の詳細については、議会改革調査特別委員長の方から説明をしたいと思います。

過去は議会報告会をしていたが、大人数のなかで議会に対して意見を言っていただけの方はあまりいなかった。いたとしても一部の方が意見をいう場面が多かったのでこのような車座会議を始めて2年余りになる。今回で第20回目である。いろいろな会の方から意見をいただいている。いただいた意見については皆様方がお帰りになった後、議員だけ残って話し合い、これからの議会活動に反映させていく。できることは行政に対して要望していく。今晚は短い時間のなかであるが、3班に分けて議論をするのでたくさんの意見をいただきたいと思います。

自己紹介

議会改革の歩みについて

○柏木議会改革調査特別委員長：ダイジェスト版で説明をする。

意見交換

討議テーマ

- ① 地域が抱える課題と活性化策について
- ② 議員のなり手不足の解消について
- ③ 町行政や議会に対しての要望について

○意見発表

1班・・・古野議長、新居議員、福永議員、柏木議員
笹山泰司、井本 茂、大西昭生、川島久志

○柏木議員：鮎川地区の河床が上がっていて浸かりやすくなっている。対象は5軒ほどであるが、雨が降るたび心配している。26年の台風の際は朝生地区も数軒浸水した。その対策を急いでもらいたい。河川整備計画には入っているが、その予算付けがいつになるか分からない。

人口が減少していて集落の活動が成り立たない。延野地区で議員がいない。地域の代表の声が上がっていないので取り残される恐れがある。小学校、中学校が並んでいるが、周辺の店舗も空きが出ているし、人口も減っているのでは何か対策をしないとイケない。

街灯の整備を地域でやっているが、けがをしたり、担い手がいなくなったらどうするのか。昔は消防がやってくれていたが、このまま地域がやり続けていく体力があるかどうか。町全体で考えていかなければならない。

若者の働き場がないと帰ってきてくれない。大規模な工場の誘致。そのためには水利権の拡大が必要である。

農業をする若者が増えてきているが、出荷をするために道路網の整備が必要である。

議員のなり手不足の解消については、高齢化、少子化も含めて他人のことまでできる人材がいない。選挙違反などが過去にあって敬遠されている方もいる。議員になった場合、プライベートが公になったり、批判の対象になったりするのではなり手がいない。

不便な地域であればなり手も現れるのではないかと。国道沿いなのでそんなに危機感を持っていない。

対策については議員報酬を上げること。民間で働いている人と比べると18万2千円は安い。

築橋が架け替えられたら朝生地区はさびれていくのではないかと。

吉野のビジネスセンターがあまり機能していない。空いている土地があるのであれば町営住宅にしたらいい。町産材を使って建てたということであるが、そもそも町産材で建てたか疑わしい。九州から運ばれてきていた。

海川地区でヒルが発生している。子どもたちは川で泳げない。そのヒルが成瀬まで発生している。何か対策はないか。

2班・・・連記議員、株田議員、山崎議員

湯城豊勝、藤本忠美、森 泰敏

○山崎議員 : 川口地区も人が減っている。昔は川口に映画館があったが、店もなくなっている。延野も人口が減って朝、下からの車が多く入ってきている。人口減少の原因は仕事か買い物の便利さなのか、保育か医療かきちんと調べて対策をしてほしい。役場の職員で下から通ってきている人はどんな気持ちなのだろうか。町の職員は町営住宅に入れられないなどの要因があるので対策をきちんとしてほしい。

上那賀、木沢の学校がなくなっているのでは下へ出ていくスピードが速くなっている。

もんでこいの活動などで人口減少が緩やかなスピードになっているのでは成果や結果が出始めているのではないかと。子どもの頃から「ふるさとにもん

てこい」と言い続けることが大事である。

町で唯一の高校「那賀高校」が残っているので、林業科、バレー部、野球部、カヌー部、人形浄瑠璃部などの魅力をもっとアピールして外から子どもたちを集める。

上那賀の議員は多いが延野地区の議員はいない。批判するマスコミの責任か。議員の魅力の問題かもしれない。人口減少への危機感を持って考えられているか。

データに基づく議論をしてほしい。きちんと勉強をしてから質問をする。

車座会議は連絡員だけではもったいないので一般の方も参加できるように場を持っていただきたい。

中学校の上の道も側溝の口が開いているので危ないのではないか。

地域おこし協力隊の効果は... 議員からは頑張っている子たちが来ている。3年の期間を経過した後のフォローが必要ではないか。

那賀町は少子高齢化なのでこれ以上人口が減らないような対策が必要である。ネットワーク（絆）が大切である。

3班・・・大澤議員、久川議員、植北議員、山上議員
殿谷武司、上田将視、福田 豊

○山上議員 : 水の花荘の跡地利用はどう考えているのか。地元の方と一緒に計画を立ててほしい。木の伐採をしているが、雨が降った時に倒れないのか心配している。何か対策を考えてほしい。

河川整備計画に鮎川は入っているが、その後計画が進んでいないので、どうなっているのか。早く進めてもらいたい。

小学校の裏の町営住宅の建設予定地であるが、合併処理場のにおいが臭いので対策をしてほしい。

相生支所の横を通る車のスピードが速すぎるので速度を抑えるためにカラー舗装にしてほしい。この道路は通学路にもなっていてたいへん危ないのでよろしくお願ひしたい。

道路の外側の線を前に向いて狭めると車の速度が上がらないという意見が出たので是非、検討してほしい。

○古野議長 : たいへん熱心な意見ありがとうございました。今いただいた意見のなかですぐ手をつけれるもの、またこれから課題として対策していかなければならないものいろいろあると思うが、皆様方がお帰りになった後、議員だけ残って意識を一緒に持てるようなかたちをつくり、行政に働きかけたり、それぞれで動いていきたいと思う。今日はたいへんお世話になりました。ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。

午後9時00分頃 閉会